

医療情報学〈B7〉

講義担当者

情報基盤センター 山本 景一

I 一般学習目標

情報技術が現代の医療に与えた変化と果たしている役割を理解し、医療の情報化の目的と意義を知る。また医療現場における診療情報の流れやその管理方法について学ぶ。これらにより医療を情報科学的視点から統合的に再認識する。

II 個別学習目標

- (1) 「情報」の概念やその科学的取り扱いについて説明できる。
- (2) 電子カルテの概念および医療にもたらす寄与について説明できる
- (3) 医療情報の標準化の必要性と事例について説明できる。
- (4) 医療、健康、保健福祉、ゲノム医療、臨床研究他の情報化の動向と将来について説明できる。

III 教育内容

No.	月日	曜日	時限	タイトル	内容
1.	R3. 9. 30	(木)	2	医療情報学概論、診療情報学 I	病院情報システム、医療の標準化
2.	R3. 9. 30	(木)	3	診療情報学 II	地域医療連携、災害医療
3.	R3. 10. 7	(木)	2	診療情報学 III	パーソナルヘルスレコード(PHR)
4.	R3. 10. 7	(木)	3	バイオインフォマティクス (生物情報学)	ゲノム医療、クリニカルシーケンス、バイオバンク
5.	R3. 10. 14	(木)	2	臨床研究情報学 I	臨床研究 IT 入門
6.	R3. 10. 14	(木)	3	臨床研究情報学 II	臨床研究の信頼性保証
7.	R3. 10. 21	(木)	2	臨床研究情報学 III	医療ビッグデータ

IV 教育方法

講義：テーマにより適宜ビデオ教材を使用する。

V 評価の方法

講義時間中のレポート (40%) および試験 (60%) で評価する。

VI 推薦する参考書

日本医療情報学会 編：「医療情報」第5版 医療情報システム編、日本医療情報学会／篠原出版新社
その他講義中に紹介